実践事例の紹介ー理科・生活科ー

堀江俊丞 河島哲 田上幸太 菅野佳江 田中麻衣 加部清子 〇髙津梓

1.小学部「生活単元学習」単元名「きゅうりで りりり!」

文責:加部清子

(1) 単元概要

学習形態

授業時数

実施時期

(2)指導の流れ

1・2年

| 2時間(+水やりは毎日)

5月~7月

〈家庭との関連〉収穫したきゅうりは家庭に 持ち帰り、各家庭の食卓に上りました。9月 には黄色く熟したきゅうりを持ち帰りました。 種が取れることを紹介すると、実践し、取った 種を持参した児童もいました。

次

活

きゅうりをうえよう





- ・畑の草取りをする。・水やりや肥料やり、剪定などをする。
- ・きゅうりの苗を植 える。
- - ・きゅうりの観察(葉の手触り、葉の数、巻きひげの 有無・様子、苗の大きさ、花の色、花や実の有無、実 の大きさなど)をし、写真を撮る。写真を見合う。
 - ・きゅうりの収穫をする。
 - ・きゅうりはどっち?クイズ(苗、花、表面、断面図など を他の野菜と比較)をする。

他教科との関連(生活単元学習として実施)

国語







・「やさいのおなか」 の絵本の読み聞か せを聞く。

・「やさいのうた」の 手遊びをする。

・葉や花、実を見つける。・「きゅうりりりたいそう」

・葉や花、実の数を数えをする。

・手洗いの方法を知り、 ・きゅうりの苗と背比べ 石鹸できれいに手を洗う。 をする。

※ 小学部では、低学年は主に合わせた指導において、中高学年 は「生活科」として、理科につながる内容を取り扱っています。

2. 中学部「理科」単元名「昆虫に詳しくなろう」

文責:堀江俊丞

(1) 単元概要

学習形態

授業時数

実施時期

(2)指導の流れ

9人ずつのA·Bグループ

||時間

5月~7月

昆虫を観察してみよう



- ・虫眼鏡の使い方を知る。
- ・虫眼鏡を使って昆虫を観察 (足の本数、体の構成につい て)し、イラストで表現する。
- ・イラストの振り返りを通して、昆 虫の特徴を考える。

昆虫の棲家を考えよう





- ・虫の住んでいる場所を体育館 に大きく投影し、昆虫が住んで いる場所について知る。その後、 昆虫の写真を貼りながら、学習 したことをまとめる
- ・春夏に見られる昆虫の違いを 確認する。



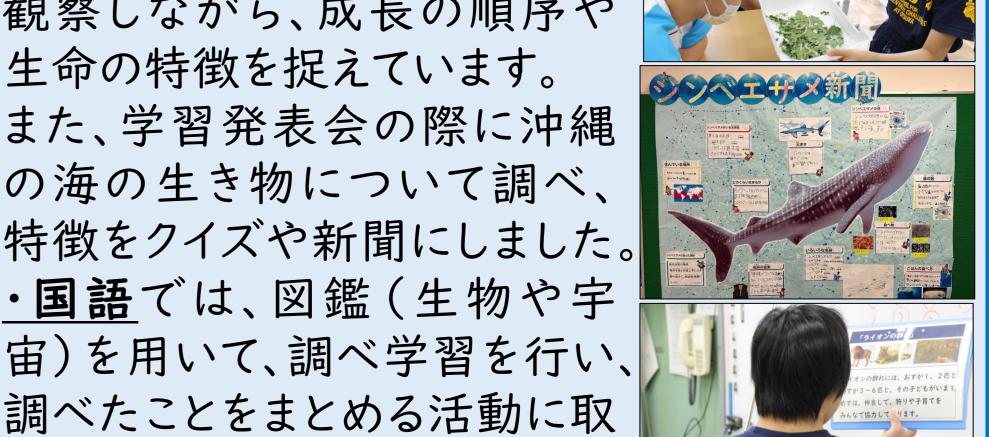


- ・粘土とモールを用いて、昆虫の 体の部位(頭、胸、腹)と6本の 足を表現する。
- ・昆虫の一生を絵本や動画で 確認し、ワークシートにまとめる。
- ・学習してきた内容のクイズに 取り組む。

〈他教科との関連〉

・生活単元学習では、「A生命 ア」に関連する学習として「植 物を育てよう」、「昆虫を飼育し よう」の単元を行なっています。 理科で学習したことを土台に 観察しながら、成長の順序や 生命の特徴を捉えています。 また、学習発表会の際に沖縄 の海の生き物について調べ、 特徴をクイズや新聞にしました。 ・国語では、図鑑(生物や宇

り組みました。



本単元は、中学部I段階の「A生命ア」を取り 扱った学習になります。授業の成果として、昆虫 だけに焦点を当てたことや地域資源を活用し、 出張授業で多くの標本を見たことで、生徒の興 味関心の高まりや理解の深まりが見られました。

3. 高等部「理科」単元名「流れる水の働きと変化」 文責:河島哲

(1) 単元概要

川の流れの様子

2年

上流

授業時数 学習形態 4時間

実施時期 10月~11月

(2)指導の流れ

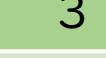
小単元名

流れる水の働き



・流れる水による浸食、運搬、堆 の速さ、川の幅、岸の様子、石の積の3つの働きを実験を通して 確認する。

・流れる水が削る、運ぶ、積もら・災害を防ぐために行われてい ・水は高い方から低い方へと流 せる場所に注目して観察をする。る工夫の実際について、上流、



長雨や集中豪雨がもたらす川 の増水による自然災害。

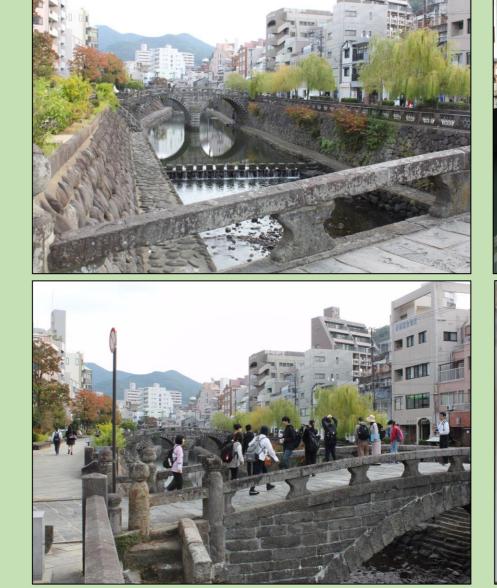


・河川で、どのような場所が洪水 などの災害が起きやすいか、防 ぐための工夫を考え発表する。

中流、下流での違いを動画を参 考に確認する。

〈他教科との関連〉

・社会科修学旅行に向けた学習の一環で 長崎の観光名所「眼鏡橋」について学習し ました。1982年の水害で一度壊れてしまっ た眼鏡橋を再建するにあたり、川幅や橋は そのままにして、両岸の地下に暗渠式のバ イパス水路を設けていることを学習し、現地 で実際に見て確認しました。





・川の上流、中流、下流の流れ 様子などに注目し、ワークシート 動 にまとめる。 内容

れ、川を流れているのは水だけ でないことを知る。

